

## 2022年度

科目名： 教    育    学・講師名	講師名 矢    部    玲    子
学年：          2	時間数：          58（  1  単位）

## □ねらい

教育の原理を基礎知識とし、人間形成における教育の機能を理解して看護場面における健康教育、患者の指導に応用できる能力を養う。

時間	単元（テーマ）	講義内容
1	教育の機能と原理1 （教育＝「関わり」の発想Ⅰ）	様々な「教育＝関わり」について理解する。 S G E（構成的グループエンカウンター）「フラインド・デート」の実演から「自己表現と他者理解」を学ぶ。
2	学習に影響する条件1 （自己と他者の立場Ⅰ）	ロールプレイングを通して看護場面における他者理解と患者指導の応用を知る。
3	学習に影響する条件2 （自己と他者の立場Ⅱ）	ロールプレイングを通して看護場面における他者理解と患者指導に役立つ適切な接遇を知る。
4	学習に影響する条件3 （自己と他者の立場Ⅲ）	ロールプレイングの実演・評価
5	教育方法1（教育と家庭Ⅰ）	子育てを教育という視点からとらえる。
6	教育方法2（教育と家庭Ⅱ）	児童虐待などを例に家庭教育方法の問題を考える。
7	教育方法3（教育と学校Ⅰ）	不登校を例に医療看護と学校教育の関係を考える。
8	教育方法4（教育と学校Ⅱ）	発達障害から医療看護と教育方法の関係を考える。
9	教育方法5（教育と社会）	大人の発達障害から医療看護と教育の関係を探る。
10	教育方法6（性教育Ⅰ）	性教育における教育と医療看護の関連を考える。
11	教育評価1（性教育Ⅱ）	性教育を例に患者の変容促進と評価の方策を探る。
12	教育評価2 （「生」と「死」の教育Ⅰ）	教育の観点から「生」と「死」との関わりを探り、death education の評価方策を探る。
13	教育評価3 （「生」と「死」の教育Ⅱ）	看護と「生」と「死」との関わりをホスピスの看護から探り、患者の変容を促し評価する方策を探る。
14	教育の機能と原理2 （「関わり」の発想Ⅱ）	S G E「Xさんからの手紙」の実演から、教育＝関わり の観点から教育の機能と原理を再考する。

□ 教科書：なし

□ 参考書：講義中に適宜紹介

□ 評価方法：講義中の質問や説明を総合した問題に「記述式」で回答する試験を行う。

評価基準は「講義内容の理解」、「適切な自己表現」、「正確な表記」。